



はしかみ

No.39

11月号 (November)

議会だより

暮らし人
地域を豊かに



～第45回階上町小学生防犯弁論大会～

9月19日、石鉢小学校で第45回階上町小学生防犯弁論大会が開催され、各小学校の代表弁士6人が堂々と発表しました。

(写真は1位に選ばれた赤保内小学校6年 小村華楓さん)



三陸復興国立公園
みちのく潮風トレイル
日本ジオパーク認定

青森県階上町議会

02 9月定例会

一般会計決算
町税収納率6年連続上昇

04 ここが聞きたい

2議員が一般質問

07 質疑あれこれ

一般・特別会計補正予算

第5回 9月定例会

令和元年第5回定例会を9月10日開会し、9月13日閉会しました。
今回の議会では、認定1件、報告2件、条例の一部改正1件、補正予算4件、その他1件、計9件が上程されました。審議の結果、いずれも全会一致で認定、可決しました。一般質問は、2人の議員が行いました。

一般会計決算

3億3615万円の黒字！

歳入57億1165万円 歳出53億6764万円

▽30年度一般会計決算

歳入（収入）は、57億1165万円、歳出（支出）は、53億6764万円。

実質収支額は、3億3615万円で、黒字を継続中です。このうち、2億4千万円を基金に積み立てました。

歳入では、地方交付税が40・3%で最も高く、町税20・1%、国庫支出金11・3%の順となっています。

自主財源は、30・2%で、町税の収納率が前年度より増額となり、収納率が6年連続で上昇しました。依存財源は、69・8%で、前年度より地方消費税交付金等が増額となり、県支出金、町債等が減額となりました。

目的別歳出では、民生費が29・4%で最も高く、自立支援事業費、子どものための教育・保育給付費等が主なものとなっています。

2番目は、総務費の18・

3%でコミュニティバス・スクールバス運行委託料等が主なものです。

次いで、公債費の14・2%の順となっています。

性質別歳出では、義務的経費（人件費、扶助費・公債費）が、48・1%、投資的経費（普通建設事業費、災害復旧事業費等）が6・

9%、その他の経費（物件費、維持補修費、補助費等、積立金、出資金貸付金、操

出金等）が45・0%となりました。

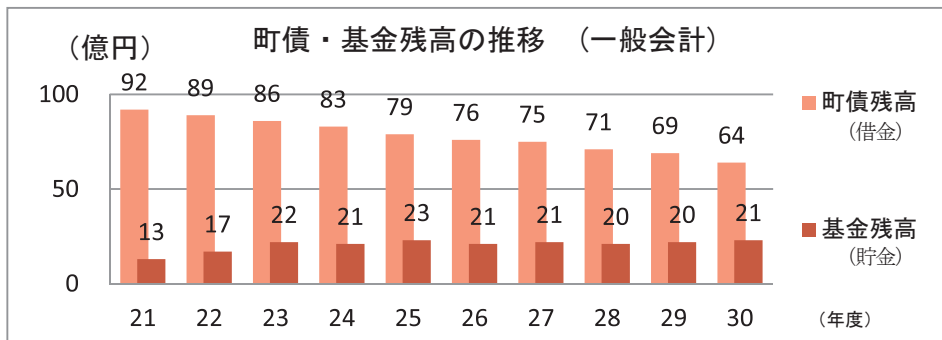
財政構造の弾力性を判断する経常収支比率は、92・

5%で、前年度比0・6ポイントの増となり、依然として財政が硬直化している状況となっています。

町債現在高は、新規発行債の抑制により64億220

6万円となり、前年度より

4億4378万円の減となりました。



「暮らし・人・地域を豊かに」

～平成30年度決算の主な事業～

【総務費】コミュニティバス・スクールバス運行委託料4007万円、移住・定住新築住宅支援事業補助金1981万円、防犯灯電気料・設置費補助金1882万円など。

【民生費】子どものための教育・保育給付費4億54

99万円、自立支援事業費2億8456万円、児童手当費1億7948万円、放課後児童健全育成事業委託料1569万円など。

【衛生費】予防接種委託料3269万円、住民検診委託料2830万円、ごみ収集及び処理委託料2485

万円、乳幼児等医療費給付費1169万円、浄化槽設置費補助金1006万円など。

【農林水産業費】はしかみハマの駅あるでいしば指定管理委託料3千万円、階上

地区水産物供給基盤機能保全事業2040万円、農業次世代人材投資資金900万円など。

【商工費】三陸復興国立公園維持管理委託料711万円、観光PR事業費357万円など。

【土木費】耳ヶ吠・追越線外舗装補修工事6603万円、除雪作業委託料630

6万円、道路維持工事6011万円、道路改良等工事5641万円など。

【消防費】消防用ホース166万円、第1分団屯所駐車場舗装工事100万円など。

【教育費】奨学資金1494万円、町民プール内部鉄骨塗装工事683万円、ブ

ロック塀撤去工事116万円など。

国保税 5年連続収納率アップ

特別会計決算
法定外繰入3年連続0円



▽30年度国民健康保険特別会計決算
歳入は、16億3776万円、歳出は、15億3911万円、9864万円の黒字。そのうち5千万円を国保会計財政調整基金へ繰入れ。

▽30年度介護保険特別会計決算
歳入は、13億328万円、歳出は、12億7967万円、2361万円の黒字。そのうち2296万円を介護給付費準備基金へ繰入れ。

▽30年度漁業集落排水事業特別会計決算
歳入は、4167万円、歳出は、4054万円で、113万円の黒字。

歳入は、県支出金10億6839万円、国民健康保険税3億6410万円、繰入金1億3493万円など。

歳入は、支払基金交付金3億2858万円、保険料3億1326万円、国庫支出金2億9872万円など。

歳入は、公債費2495万円、施設管理費1083万円など。

歳出は、保険給付費10億1926万円、国民健康保険事業費納付金4億6308万円など。

▽30年度後期高齢者医療特別会計決算
歳入は、1億1789万円、歳出は、1億1741万円、47万円の黒字。

▽30年度公共下水道事業特別会計決算
歳入は、3億803万円、歳出は、3億546万円、256万円の黒字。

歳入は、保険料6844万円、繰入金4767万円など。
歳出は、後期高齢者医療広域連合納付金1億670万円など。

歳入は、繰入金1億2168万円、町債7900万円、国庫支出金6406万円など。
歳出は、公共下水道事業費1億4322万円、公債費1億261万円など。

区分	30年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	- ※1	15.00%	20.00%
連結実質赤字比率	- ※1	20.00%	30.00%
実質公債費比率 ※2	11.1%	25.0%	35.0%
将来負担比率 ※3	53.6%	350.0%	-
資金不足比率	- ※4	経営健全化基準 20.00%	

※1 黒字のため比率はありません。 ※2 自由になる財源の内、借金返済の割合。
 ※3 実質的な債務が、自由になる財源の何年分かの割合。
 ※4 公共下水道事業特別会計、漁業集落排水事業特別会計の比率で、ともに黒字のため資金不足はありません。

▽30年度健全化判断比率・資金不足比率

【監査意見】 財源の安定確保と 効率的な行財政運営を

代表監査委員 三上孝八
監査委員 小松雅彦

▽一般・特別会計
30年度一般会計・各特別会計の予算の執行および事務処理は適法かつ適正な決算であると認める。

歳入の柱である町税収入は、個人町民税、軽自動車税、町たばこ税及び鉦産税の調定額、収入額が増となり、収納率が6年連続で上昇に転じ、明るい兆しがみえる。

引き続き、納税者の納税義務と税の公平負担の観点から、更なる収納率の向上を図り、収入未済額の圧縮に一層の努力をお願いする。

少子高齢化の進行に伴う社会保障費や扶助費、公共施設の維持管理費の増加などに加え、快適で安心して暮らしを営むまちづくり、地域資源をいかした活力あふ

れる産業づくり、ともに生き支え合う福祉のまちづくり、未来をになう人づくり、協働のまちづくりなど、目標とする多くの課題が山積していることから、財政環境は厳しい状況にある。

これらの課題に的確に対応するため、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を着実に展開するなど、引き続き計画的、効率的な行財政運営に努め、協働のまちづくりの精神を十分に発揮しながら、諸施策を展開するよう要望する。

▽財政健全化指標
昨年と同様に財政の健全化が保たれている。今後この状況を維持することを切望する。

プレミアム付商品券事業費補助金に7500万円
一般会計補正予算

1億9283万円を増額補正

▽元年度一般会計補正予算(第2号)
1億9283万円を増額補正し、予算総額を59億6200万円としました。

▽元年度介護保険特別会計補正予算(第2号)
946万円を増額補正し、予算総額を13億4875万円としました。

歳入は、分担金及び負担金393万円を減額し、繰越金8615万円、諸収入6千万円等を増額しました。

歳入は、民生費9556万円、農林水産業費875万円等を増額しました。

▽元年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
47万円を増額補正し、予算総額を1億1935万円としました。

歳入は、繰越金47万円を増額しました。

歳出は、後期高齢者医療広域連合納付金35万円等を増額しました。

6789万円を増額補正し、予算総額を16億1502万円としました。

歳入は、繰越金4864万円等を増額しました。

歳出は、総務費2568万円等を増額しました。

令和元年度 一般会計・特別会計の補正予算額

区分	補正額	→	予算総額
一般会計補正予算(第2号)	1億9,283万円	→	59億6,200万円
特別会計	国民健康保険(第1号)	→	16億1,502万円
	介護保険(第2号)	→	13億4,875万円
	後期高齢者医療(第1号)	→	1億1,935万円

※金額はすべて表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。

■条例の一部改正
▽階上町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正
住民基本台帳施行令等の一部改正に伴い、旧氏による印鑑登録が行えるよう、所要の改正をするため一部改正するもの。

■その他
▽階上町教育委員会の委員に任命する者につき同意を求めることについて

1人の委員の任期満了に伴い、石岡れい子氏の任命に同意しました。



石岡 れい子氏

■請願
▽小白浜海岸への昇降通路の設置に関する請願書
審査に日数を要するため、継続審査となりました。

一般質問

ここが聞きたい

第5回定例会では2議員が一般質問をしました。その内容を要約して掲載します。

■上道 二三男 議員 5ページ

- 1 「旧農村婦人の家」解体後の活用について
- 2 町消防団第三分団ポンプ自動車の更新計画について

次のページからご覧ください。



■寅谷 正 議員 6ページ

- 1 「広報はしかみ」未配布の件ほかについて
- 2 室内用防災無線の設置について
- 3 町内義務制の小中学校における学校後援会寄付金の徴収について
- 4 選挙看板等の投棄疑いの件について
- 5 原因不明の火災対応について
- 6 山館前公園までの一車線道路について

「旧農村婦人の家」解体後の活用について

〔町長〕 第三分団屯所移転地として考えており、今後分団長、区長と協議していく

問①

本年6月13日の火災で全焼した「旧農村婦人の家」の跡地利用について、地元からの声としては、以前からこの場所の周辺に三分団の屯所を、との要望が出されている。これにはいくつかの理由がある。

まず、現在の屯所がある場所は、県道に面しているものの、敷地の狭い借地であり、駐車スペースは1台分しか無く、火災発生時は、県道への路上駐車の影響を受けている。

また、緊急車両を格納するには好ましくない。との声も聞かれる。火災発生時には、左右



上道二三男 議員

また、現在の屯所については、借地のため、移転し建替えを検討しており、地元の要望でもある

2枚のシャッター棒を外してからの出動になるため時間が掛かり過ぎる。といった声も多く出てくる。

このような声もあるという現状を踏まえつつ、今後の跡地活用の進め方を伺う。

答①

町長

第三分団屯所については、昭和62年に建築され、今年度で32年が経過し、老朽化が進んでいるほか、駐車場も不足しており緊急時において、苦慮していると同っている。

現在策定中の「階上町公共施設等個別施設計画」において、令和元年度から5年度の間で屯所の建替えを予定している。



旧農村婦人の家跡地

県道に面し、駐車場としてのスペースも十分に確保できる「旧農村婦人の家」跡地を含めた中央体育館の敷地を候補地の一つとして考えている。今後改めて第三分団長、地元区長等と協議の上、進めてまいりたい。

町消防団第三分団ポンプ自動車の更新計画について

〔町長〕 屯所建替え後に購入予定である

問①

このポンプ自動車は、経年劣化が進み修理が難しい箇所が出てきている状況にある。

また、高年式のため、パワーステアリングが無く、山林火災などに出動した際に方向転換を要する場面では、運転操作に苦慮している状況にある。

このようなことから、ポンプ自動車の更新計画は進められているのか伺う。

答①

町長

三分団ポンプ自動車についても、購入から27年が経過し、経年劣化による故障も発生していることから、早期の更新が必要と考えている。

ポンプ自動車の更新については、現在のボンネット型から、現行基準のキャブオーバー型に更

新した場合、車高が高くなることから、現在の屯所には入庫できない状況となる。

このことから、まずは屯所の整備を行う必要があると考えており、ポンプ自動車については、屯所建替え後に購入を予定している。



第三分団ポンプ自動車



第三分団屯所

「広報はしらかみ」未配布の件ほかについて

〔町長〕
全戸配布に向け検討中

問① 問について、今年6月議会から3か月、平成28年12月議会から2年8カ月経過したが、一体、何を検討してきたのか伺いたい。

② 広報は、選挙公報のように本来郵送で全戸に配布すべきで、そうならないのは権利侵害と思うが、見解を求める。

③ 町が県から配布謝金をもらい配布している「県民だより」と「県議会だより」がある。町内会未加入世帯に配布されず、余った「だより類」と「配布謝金の残金」は、どうしているのか伺いたい。

④ 広報はしらかみの配布時期を「月初め発行」にし、「行事&くらし」の力



寅谷 正 議員

レンダー」を1日〜月末までの期間に改める考えがないか伺いたい。

答① 町長

①② 広報をコンビニ等へ配置し、配布実態調査を実施するなど、現在全戸配布に向け、その方法について区長会と共に検討している。

③ 県民だよりと県議会だよりの配布は、広報はしらかみと同様の取扱いとしており、委託料は、世帯数を基に、県で定めた階層に応じて支払われている。

④ これまで町民等から要望がないことと、他団体の発行物と併せて配布依頼していることから、今後、区長との協議も必要となるため、ご意見として賜りたい。

問②

広報配布について、なぜ区長会との協議が必要なのか

答② 総務課長

町行政委員規則では、区長が行うこととして「町が発行する広報等刊行物に関する」とあり、区長会へお願いをしている。

室内用防災無線の設置について

〔町長〕
システムの全面改修に多額の費用が掛かり難しい

問① 防炎無線は、何割の住民に聞こえていると町は把握しているのか。

② 聞こえが全く改善されないが、横沢地区の点検内容と結果を伺いたい。

③ 横沢地区は熊出没や山火事などあり、防炎無線は重要である。いつまで聞こえないまま放つておくのか。

④ 横沢地区にも戸別受信機設置などの対応をしてほしいが、町の考えを伺いたい。

答① 町長

①②③ 屋外スピーカーカーと戸別受信機により、町内全域をカバーするよう平成23年に更新。放送が聞き取りにくいとの情報があれば随時点検を実施し、横沢地区は、平成29年度に業者と現地で音量のチェックを行い、「問題ない」との報告を受けている。

④ システム上、戸別受信機の電波は町内全域をカバーしておらず、受信機を全域に設置するには現在のシステムを全面改修する必要があり、多額の費用を要することから、現段階では難しい。

問② 点検の結果「問題ない」とのことだが、非常に多くの人から聞こえないとの声があるので、考え直してほしい。

答② 総務課長

今後不具合がある場所については、随時現地調査をしてまいりたい。

町内義務制の小中学校における学校後援会寄付金の徴収について

〔教育長〕
任意団体であるので学区の判断に委ねる

問① 学校教育に係る費用は、善意の後援会募金に頼らず町の予算として出せないのか。また、後援会費の使途の調査と、町から出る教育費の基準を明確にしてほしい。

町長

答① 教育長

学校後援会は任意の団体であり、町は学校運営に必要な予算を毎年配分していることから、後援会寄付金の徴収については各学区の判断に委ねたい。また、後援会費使途について、教育委員会での調査は差し控えたい。

原因不明の火災対応について

〔町長〕
パトロール強化と警察・消防と連携を図る

問① 例年、選挙が近づくことと山火事放火の風評を聞く。今年の町議会議員選挙前にも放火の疑いのある火災があった。町の今後の対応を伺いたい。

答① 町長

対策会議の開催やパトロールの強化など、町消防団に加え、消防署及び警察署との連携による対応を行っており、今後も同様に対応していく。

山館前公園までの一車線道路について

〔町長〕 注意喚起をを図る
〔教育長〕 公園は継続する

問① 山館前公園までの道路は一車線対向車とすれ違うことができない。道路幅の拡幅、待避所の整備、告知板設置など事故防止の注意喚起を図るべきと考えますが、今後の対応を伺いたい。

② 山館前公園の将来についての考え方を伺いたい。

答① 町長

① 未整備区間は峡谷で、拡幅は用地問題もあるため、事故防止のための注意喚起対策を検討したい。

教育長

② 例年、花見やグラウンドゴルフの練習など、町民の方々から利用いただいており、今後も適正な維持管理に努め、継続してまいりたい。

その他の質問

「選挙看板等の投棄疑いの件について」は、警察署の権限に属するもので、町選挙管理委員会の権限外の事項なので、紙面の関係上掲載を省略。

質疑あれこれ

第5回定例会の議案の中から、質疑を要約してお知らせします。

元年度一般会計 補正予算

長根岩夫 議員

◆農業用ため池浸水想定
区域図等作成委託料

問 調査委託の内容と成果はいつ頃公表されるのか。また、委託設計の積算方法と入札方法は。ため池の決壊事例はあるのか。

答 建設課長 国で設けた新選定基準により、当町では17か所が防災重点ため池に指定され、そのうち今年度は8か所の想定区域図を作成するもの。成果等の公表時期については未定。入札等は、委託標準積算基準書により設計額を算定し、指名願届出業者の中から、過去の実績等を参考に行う。ため池の決壊事例は把握していない。

下沢育男 議員

◆子育てのための施設等
利用等給付費

問 町内で該当する施設は。また、その内容と利用人数は。

答 教育課長 幼児教育、幼稚園に係る保育料と副食費の無償化に伴う給付金で、町民の方が入園する八戸市内の3幼稚園へ支払うもの。人数は13名の見込み。

荒谷憲輝 議員

◆緊急通報装置給付費

問 13万2千円増額の件数と内容は。

答 健康福祉課長 現在の設置件数は15件で、更に2名の利用申請希望があり、増額したもの。1台当たりの設置費用は、

6万6千円で非課税世帯は全額助成となる。

◆防犯対策強化整備事業

問 19万8千円増額の事業内容は。

答 健康福祉課長 当初のブロック塀安全点検状況調査で、修繕が必要となった道仏保育園のブロック塀工事費119万7千円を計上していたが、加えて解体撤去費も承認されたため、今回増額したものの。

元年度特別会計 補正予算

大江和夫 議員

◆後期高齢者医療広域連
合納付金

問 約35万円増額しているが、その人数は。

答 健康福祉課長 全体では約1900人、6千万円程の納付金であるが、今回の補正は、前年度の3月から5月までの一部数名分の保険料について行ったものである。

第6回臨時会

令和元年第6回臨時会が、10月31日に招集され、審議の結果、全会一致で可決しました。

■条例の一部改正

▽階上町ふるさとにぎわい広場条例の一部改正
行政財産から普通財産にするため一部改正するもの。

■その他

▽財産の無償譲渡について
道の駅「はしかみ」情報提供施設建設事業に伴い、当該施設の公衆用トイレ（建物分）を国に無償譲渡するもの。

▽階上町監査委員に選任する者につき同意を求めることについて
1人の委員の任期満了に伴い、三上孝八氏を監査委員に選任することに同意しました。



三上 孝八 氏

議会だより編集委員会

◇今月号の編集委員（3人）

- ・松尾 國治 議員（総務財政）
- ・長根 岩夫 議員（産業建設）
- ・寅谷 正 議員（教育民生）



連携中枢都市圏の形成に関する勉強会

10月15日、新郷村で開催された「連携中枢都市圏の形成に関する勉強会」に、議員11人が参加。

- 講師 一般財団法人VISITはちのへ理事長 塚原 隆市 氏
- 演 題 八戸圏域における観光誘客・物産振興事業について



議会活動

8月

- 6日 町防犯・交通安全少年球技大会
- 7日 町観光協会役員会
- 8日 町総合振興計画審議会
- 18日 荒谷清志氏「藍綬褒章」受賞祝賀会
- 23日 ジュリアアイソムさんとレーベンフレミングさんを迎える会
- 25日 巨木めぐり及び森圭一郎ライブ
- 30日 県民駅伝競走大会町選手団結団式

9月

- 1日 水と土と里の集い
- 1日 県民駅伝競走大会・町選手団解団式
- 3日 議会運営委員会
- 4日 町老人スポーツ大会
- 8日 町民大運動会
- 10日 第5回定例会本会議
- 10日 議員全員協議会

- 10日 議会運営委員会
- 11日 八戸・久慈自動車道建設促進期成同盟会要望活動(宮古)



- 12日 第5回定例会本会議
- 12日 産業建設常任委員会
- 13日 第5回定例会本会議
- 18日 八戸地域広域市町村圏事務組合議員協議会
- 19日 町小学生防犯弁論大会
- 24日 産業建設常任委員会
- 29日 町消防操法競技大会

10月

- 5日 になにくとべごまつり
- 8日 産業建設常任委員会
- 8日 議会だより編集委員会
- 10日 青森・右手県境交通安全推進大会
- 11日 議会だより編集委員会
- 15日 連携中核都市圏の形成に関する勉強会
- 17日 県議長会創立70周年記念式典及び祝賀会
- 18日 議会だより編集委員会
- 19日 三戸町町制施行130周年記念式典
- 21日 郡議長会役員会
- 25日 議会だより編集委員会
- 25日 町総合振興計画審議会
- 28日 議会運営委員会
- 28日 産業建設常任委員会
- 30日 県議長会正副議長・事務局長研修会
- 30日 郡議長会臨時総会
- 31日 第6回臨時会
- 31日 議員全員協議会

議長交際費執行状況

番号	支払区分	支払月日	支払内容	支出金額
1	会費	8月18日	荒谷清志氏「藍綬褒章」受賞祝賀会	6,000円
2	会費	8月23日	ジュリアアイソムさんとレーベンフレミングさんを迎える会	5,000円
1	祝金	9月1日	水と土と里の集い	3,000円
2	祝金	9月1日	県民駅伝競走大会町選手団解団式	3,000円
3	祝金	10月5日	になにくとべごまつり	5,000円



編集後記

郡老人スポーツ大会で当町が14連覇を達成しました。スポーツに励み、健康寿命を延ばす活動をされる方々に敬意を表します。
さて、9月定例会において審議された30年度決算について、掲載しております。議会としても財政の健全化のため、優良な施策の提言などに努めてまいりますので、よろしくお願いたします。
(松尾・長根・寅谷)

議会傍聴者数 (延べ人数)

- ・第5回定例会 (令和元年9月)
9月10日(4人)
9月12日(13人)
9月13日(9人)
- ・第6回臨時会 (令和元年10月)
10月31日(3人)

議会を傍聴しませんか



議会の傍聴は、受付票に住所・氏名等を記載し、受付箱に投函するだけで、どなたでも傍聴できます。(傍聴者席は、26席です(記者席含む。))